

みずいぼがプールで感染することはありません

ミズイボがあるのでプールに入ってはダメ、という話をよく耳にします。ミズイボがプールで感染するというのが大きな理由のようです。本当にミズイボがプールで感染し、プールを禁止しなければいけないのでしょうか。

ミズイボは本来、無症状で自然治癒する病気で、治療を必要としません。そして、ミズイボがプールで感染するという科学的なデータはありません。ビート板を介して感染した事実はありますが、ビート板の共用を中止することにより、感染は無くなっています。

ミズイボの治療は、ピンセットで摘除するのが一般的で、強い痛みを伴います。当クリニックでは、本来ミズイボが治療を必要としない病気であることと、プールでの感染が考えにくいことを理由に積極的にミズイボの治療を行うことはしていません。しかしそれではプールに入れないということで、他の医療機関で処置を受けられる患者さんも多いのが現状です。プールに入れないことを理由にミズイボの治療をお考えのご両親は、このリーフレットをお持ちになって、幼稚園あるいは保育園の先生とよく話し合ってください。お子さんのことを第一にお考えいただき、お子さんが不必要なひどい痛みを伴う処置をうけることの無いようご配慮をお願いします。

なお、厚生労働省の作成した2018年改訂版「保育所における感染症対策ガイドライン」では、ミズイボは“プールの水では感染しないので、プールに入っても構わない。”と記載されています。いまだにミズイボのお子さんがプールに入れないとしている幼稚園、保育所は厚生労働省のガイドラインを無視した過剰な対応と言わざるを得ません。

また、福井県鯖江市医師会が1988年に行った調査では、ミズイボを摘除するように指導していた幼稚園・保育所とそういう指導をしていないところでのミズイボに感染している子供たちの割合を比較したところ両者に差がないことが示されました。

以上よりミズイボが水泳プールで感染するというのは全くの迷信であり、公にも否定されています。またミズイボを摘除してもミズイボに感染した子供たちを減らすことにはなりません。ですからミズイボの治療は全く無意味と言えます。以下に「保育所における感染症対策ガイドライン」（2018年改訂版）のミズイボに関する記載を抜粋しましたのでご参照ください。

医) 紘生会 かわかみこどもクリニック

(24) 伝染性軟属腫（水いぼ）

病原体	伝染性軟属腫ウイルス（ポックス ウイルスの一種）
潜伏期間	2～7週
症状・特徴	<p>1～5mm（稀に1cm程度のこともある。）程度の常色～白～淡紅色の丘しん、小結節（しこり）であり、表面はつやがあつて、一見水疱（水ぶくれ）にも見える。大きな目の結節（しこり）では中心が凹になっている。多くの場合では、数個～数十個が集まっている。四肢、体幹等によくみられるが、顔、首、陰部等どこにでも生じる。</p> <p>軽度のかゆみがあるが、かいてつぶれることで、また、かかなくても個々のものは数か月から時に半年もの長期間をかけて自然経過で治癒することがある。</p>
感染経路	<p>主な感染経路は皮膚と皮膚の直接接触による接触感染である。伝染性軟属腫（水いぼ）を左右から押すと、中央から白色の粥状（かゆ）の物質が排出される。この中にウイルスが含まれている。</p> <p>プールの水では感染しないので、プールに入っても構わない。タオル、浮輪、ビーチボード等を介して感染する場合もある。接触後に症状が出るまで2～7週間かかるといわれており、感染時期の特定は難しい。</p>
予防・治療方法	<p>自然経過で治癒することもあるが、治癒に数か月かかることもある。保育所においては、周囲の子どもに感染することを考慮し、嘱託医と相談して対応する。</p> <p>治療には、専用のピンセットでの摘除法（痛みと少量の出血があるため、局所麻酔薬テープを事前に貼ることがある）、外用療法、内服療法、冷凍凝固療法等がある。</p> <p>皮膚のバリア機能が未熟な乳幼児、アトピー性皮膚炎患者等では、伝染性軟属腫（水いぼ）を引っかいた手で別の箇所を触ることで、その個所にも感染が拡大し、広い範囲に伝染性軟属腫（水いぼ）が生じる場合がある。このため、皮膚の清潔を保ち、保湿剤等でバリア機能を改善する。</p>
留意すべきこと （感染拡大防止策等）	<p>集団生活、水遊び、浴場等で皮膚と皮膚が接触することにより周囲の子どもに感染する可能性がある。このため、伝染性軟属腫（水いぼ）を衣類、包帯、耐水性ばんそうこう等で覆い、他の子どもへの感染を防ぐ。また、プール後は皮膚表面のバリア機能が低下しやすいので、皮膚の保湿を保つ。</p> <p>接触感染により感染するため、日常的に手洗いの励行等の一般的な予防法を実施することが重要である。</p>